

広島県未来チャレンジ資金貸付申請書

年 月 日

広島県知事 様

住 所

氏 名

大学院等専門課程を修了後、県内企業等に就業しますので、資金の貸付けを受けたく、関係書類を添えて申請します。

申 請 者	住 所	(電話：) (携帯電話：) (電子メールアドレス：)			
	氏 名	年 月 日生	性別		
	会社に勤務している場合 勤務先	(名称) (住所)			
修 学 先 等	名 称				
	所 在 地				
	修 了 予 定 年 月 日	年 月 日			
希 望 貸 付 額	課程修了までの総額		貸付希望期間	年 月分から	
	円			年 月分まで	
連 帯 保 証 人	住 所 又 は 所 在 地				
	氏名又は名称 及び代表者氏名	年 月 日生(歳)			
	連 絡 先 (TEL)			続柄	
	住 所 又 は 所 在 地				
	氏名又は名称 及び代表者氏名	年 月 日生(歳)			
	連 絡 先 (TEL)			続柄	

- 注 1 不用の文字は、消すこと。
 2 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。
 3 県内企業等とは、広島県未来チャレンジ資金貸付規則第3条第2号に規定するものをいう。
 4 希望貸付額の欄には、入学金、授業料、入学時に転居した場合の住居の賃借料の額及び合計額(ただし、広島県未来チャレンジ資金貸付規則第4条第1項又は第2項に記載の額を上限)を記載

広島県未来チャレンジ資金応募理由書

応募理由1 (実務経験〔勤務先, 職務内容, 在職期間など〕)

応募理由2 (応募動機・希望課程について)

応募理由3 (自分自身の将来像及び今後の広島県内産業に対する貢献について)

広島県未来チャレンジ資金 連帯保証人の資格に関する調べ

令和 年 月 日

申請者氏名

連帯保証人の資力については、次のとおりです。

連帯保証人 A	氏名	
	前年の収入額等 (収入額がない場合、相当の固定資産の有無)	約 万円 (有 ・ 無)
	職業	
	勤務先名称	
	勤務先所在地	〒 -

【連帯保証人に関する注意事項】

連帯保証人は、申請者と連帯して債務を負担するため、申請者と同じ責任を負うことになります。返還が必要となった場合は、申請者と同時に返還義務があります。なお、返還に当たっては、全額を一括で支払うこととなります。

そのため、連帯保証人は貸付金の返還ができる以下の条件を満たす者としてください。

- (1) 身元確実な成年者であること。
- (2) 資力については、次の①②③いずれかを満たし、それを証明する書類を提出できること。

要件	提出書類 (コピー可)	備考
①固定した収入をもって独立の生計を営むこと。	前年度の課税台帳記載事項証明書 (給与収入のみの場合は源泉徴収票)	
②相当の固定資産を有すること。※	固定資産評価証明書、不動産登記簿謄本全部事項証明書 (土地、建物)	共同で取得している場合は、本人の取得割合がわかる書類を添付

ただし、①・②が貸付総額に満たない場合、次の書類に代えることができる。

③相当の預貯金を有すること。 ※	預貯金を証明する書類 (通帳の表紙と金額記載ページのコピー)	
---------------------	--------------------------------	--

※「相当の」とは、貸付金の全額を一括で返還することができることをいいます。

広島県未来チャレンジ資金 連帯保証人の資格に関する調べ

令和 年 月 日

申請者氏名

連帯保証人の資力については、次のとおりです。

連帯保証人 B	氏名	
	前年の収入額等 (収入額がない場合、相当の固定資産の有無)	約 万円 (有 ・ 無)
	職業	
	勤務先名称	
	勤務先所在地	〒 -

【連帯保証人に関する注意事項】

連帯保証人は、申請者と連帯して債務を負担するため、申請者と同じ責任を負うことになります。返還が必要となった場合は、申請者と同時に返還義務があります。なお、返還に当たっては、全額を一括で支払うこととなります。

そのため、連帯保証人は貸付金の返還ができる以下の条件を満たす者としてください。

- (1) 身元確実な成年者であること。
- (2) 資力については、次の①②③いずれかを満たし、それを証明する書類を提出できること。

要件	提出書類 (コピー可)	備考
①固定した収入をもって独立の生計を営むこと。	前年度の課税台帳記載事項証明書 (給与収入のみの場合は源泉徴収票)	
②相当の固定資産を有すること。※	固定資産評価証明書、不動産登記簿謄本全部事項証明書 (土地、建物)	共同で取得している場合は、本人の取得割合がわかる書類を添付

ただし、①・②が貸付総額に満たない場合、次の書類に代えることができる。

③相当の預貯金を有すること。※	預貯金を証明する書類 (通帳の表紙と金額記載ページのコピー)	
-----------------	--------------------------------	--

※「相当の」とは、貸付金の全額を一括で返還することができることをいいます。

広島県未来チャレンジ資金 目標達成に向けた計画書（ロードマップ）

申請者氏名

広島県未来チャレンジ資金の対象となる広島県内企業等で就業し、活動するため、次の計画書のとおり実施する予定です。

区 分	年度ごとの自分自身の将来像・目標	年度ごとの広島県産業に対する貢献目標
大学院入学 1年目 ※既に入學している 場合は記入不要		
大学院入学 2年目 ※貸付期間が1年以 内の場合は記入不要		
大学院入学 3年目 ※貸付期間が2年以 内の場合は記入不要		
大学院修了 就業1年目		
就業2年目		
就業3年目		
就業4年目		
就業5年目		

広島県未来チャレンジ資金
広島県内企業等への就業に向けたロードマップ（就職活動の計画書）

申請者氏名

広島県未来チャレンジ資金の返還猶予の対象となる広島県内企業等へ就業するため、次のとおり就職活動を実施する予定です。

区 分	就職活動の内容
大学院等専門課程入学前 ※既に入學している場合は記入不要	
大学院等専門課程 1年目	
大学院等専門課程 2年目 ※貸付期間が1年以内の場合は記入不要	
大学院等専門課程 3年目 ※貸付期間が2年以内の場合は記入不要	
大学院等専門課程修了後 1年目 ※通常の修学年限で修了した後も就職活動が必要な場合は記入すること	

※申請者が次の場合は、このロードマップを作成してください。

- ・ 広島県内企業等に就業していない（無職または広島県外企業等に就業している）場合
- ・ 自分自身の将来像を実現するため、大学院在学中又は修了時に、他の広島県内企業等に転職（起業を含む）を考えている場合

（注）広島県内企業等に就業とは次のいずれかによるものとします。

- ① 広島県内に、本店を有する会社・主たる事務所を有する医業を主たる事業とする法人・主たる事務所等を置く個人事業者に就業
- ② 広島県外に、本店を有する会社・主たる事務所を有する医業を主たる事業とする法人・主たる事務所等を置く個人事業者の、広島県内の支店・事務所・事務所等に就業
- ③ 広島県内に、本店・主たる事業所・主たる事務所等を置いて事業を営む

別紙（参考）

広島県未来チャレンジ資金成果等の状況調査票（在学中）

（毎年10月～11月実施）

貸付番号	氏名	修学先の大学院	貸付期間

1 連絡先等を記入してください。変更・追加がある場合は、下欄も記入してください。

	日中の連絡先	e-mail	勤務先
届出			
変更等			

2 貸付申請時の目標（自分自身の将来像及び広島県産業に対する貢献）を記入してください。目標に変更・追加がある場合は、下欄も記入してください。

申請時	
変更等	

3 貸付者及び連帯保証人の住所や転職等（留年の可能性や休学等を含む）、変更等が生じた場合は記入してください。

変更内容	
------	--

4 目標達成に向けた計画書（ロードマップ）を記入してください。（大学院在学中から返還免除になるまで）

	年度ごとの自分自身の将来像・目標	年度ごとの広島県産業に対する貢献目標
大学院在学中		
大学院修了後 就業1年目		
大学院修了 就業2年目		
大学院修了 就業3年目		
大学院修了 就業4年目		
大学院修了 就業5年目		

5 修学で得た知識・成果及び仕事への活用内容を記入してください。

知識	
成果	

別紙（参考）

広島県未来チャレンジ資金成果等の状況調査票（1年目）

（毎年1月～2月実施）

貸付番号	氏名	修学先の大学院	貸付期間

1 連絡先等を記入してください。変更・追加がある場合は、下欄も記入してください。

	日中の連絡先	e-mail	勤務先
届出			
変更等			

2 貸付申請時の目標（自分自身の将来像・目標及び広島県産業に対する貢献目標）を記入してください。
目標に変更・追加がある場合は、下欄も記入してください。

申請時	
変更等	

3 貸付者及び連帯保証人の住所や転職等（留年の可能性や休学等を含む）、変更等が生じた場合は記入してください。

変更内容	
------	--

4 修学の成果等を記入してください。

- (1) 修学でどのような知識や成果（副次的なものを含む）が得られましたか。
- (2) 得られた知識や成果が、仕事にどのように活かされていますか。（無就業の場合は、今後どのように活かされると考えていますか。）
- (3) 貸付申請時の目標（自分自身の将来像及び広島県産業に対する貢献）に対して、どのようなことを行う予定ですか。

	令和 年
(1) 修学で得た知識・成果	
(2) 知識・成果の仕事への活用	
(3)-1 目標（自分自身の将来像）に対する活動内容	
(3)-2 目標（広島県産業への貢献）に対する活動内容	

5 目標達成に向けた計画書（ロードマップ）を記入してください。

	年度ごとの自分自身の将来像・目標	年度ごとの広島県産業に対する貢献目標
1年目		
2年目		
3年目		
4年目		
5年目		

別紙（参考）

広島県未来チャレンジ資金成果等の状況調査票（2年目以降）

（毎年1月～2月実施）

貸付番号	氏名	修学先の大学院	貸付期間

1 連絡先等を記入してください。変更・追加がある場合は、下欄も記入してください。

	日中の連絡先	e-mail	勤務先
届出			
変更等			

2 貸付申請時の目標を記入してください。目標に変更・追加がある場合は、下欄も記入してください。

申請時	
変更等	

3 貸付申請時の広島県産業に対する貢献を記入してください。目標に変更・追加がある場合は、下欄も記入してください。

申請時	
変更等	

4 貸付者及び連帯保証人の住所や転職等（留年の可能性や休学等を含む）、変更等が生じた場合は記入してください。

変更内容	
------	--

5 現在の大学院修了年次について記入してください。

	令和 年
(1)大学院修了	■ 大学院修了後 年目

6 今年の自分自身の将来像・目標を記載してください。

年数	自分自身の将来像・目標
年目	

7 あなたが昨年得た成果を定量・定性的に記載してください

定量	
定性	

8 成果に対する達成度に○をつけ、その理由を記入してください。

達成度	1 未着手 2 準備中 3 取組中（計画より遅れている） 4 取組中（概ね計画どおり進んでいる） 5 目標達成
理由	

9 今年の広島県産業に対する貢献目標を記載してください。

年数	広島県産業に対する貢献
年目	

10 昨年、あなたが県に貢献できたことを定量、定性的に記載してください。

定量	
定性	

11 県への貢献に対して○をつけ、その経済効果の理由を記入してください。

経済指数	1 貢献できていない 2 10万円未満 3 100万円未満 4 1,000万円未満 5 1億円未満 6 1億円以上
理由	

12 あなたが来年挑戦しようとしていること及び県への貢献目標を、定量、定性的に記載してください。

・来年挑戦しようとしていること

定量	
定性	

・県に貢献しようとしていること

定量	
定性	